

## 麻生区区民会議 第14回 市民活動・地域活動の活性化部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成28年1月19日（火）午後2時55分～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所第5会議室
- 3 出席者：〔専門部会委員〕  
岡倉委員、高橋委員、石井委員、石川委員、植木委員、小尾委員、高倉委員、林委員、宮本委員  
（欠席）横田委員  
〔事務局〕 井上、白石、麻生 [コンサルタント] 中島
- 4 傍聴者 0名
- 5 議 事
  - (1) フォーラムについて
    - ・フォーラム内での部会報告内容について案を確認した。
    - ・フォーラムについて、役割分担を確認した。  
（タイムキーパー・マイク係：石川、石井、小尾、宮本委員、展示物対応：林、植木委員、講演者対応：岡倉委員）
    - ・アンケートの質問項目について検討。  
フォーラムの後の部会は一回のみ。十分に分析する時間がないので、シンプルな質問でよいと思う。
    - ・展示物について、健康づくりのつどいの結果をパネル展示する旨確認した。
    - ・広報予定先を確認。委員も自らチラシを配布する旨確認した。
  - (2) 報告書の初校案について  
報告書の検討経過部分を確認。
    - ・片方の若者部会と分量のバランスを考える必要がある。
    - ・区民会議フォーラムは、部会に関係のあるところを簡潔に記述する旨確認。内容については別建てで記載する旨確認した。→修正点などがあれば事務局に連絡する旨、確認した。
  - (3) 前回の会議の振り返りについて（連絡事項）  
コンサルタントより説明。
  - (4) 提言に向けて  
コンサルタントより、事前に回答のあった委員からの提案を、①情報発信、②一押し、③流れで、分類し、それぞれのポイントについて説明あり。  
また、提言のイメージを固めるため、歴代の区民会議の提言や他区の区民会議の提言資料を確認した。  
部会長より、区民が提言を読んで理解できるように、提言内容の裏付けとなる理由や事実をあわせて掲載したい旨、提言を実現性の高いものとするために役割分担を明確にしたい旨、説明あり。
    - ・提言の様式について検討する必要があると思うが、企画部会の中で一方の若者部会との摺合せが必要となるので、内容を決めてから形を整えたらどうか。  
委員一人一人から、自ら考える提案について説明あり。
    - ・第三者的な立場でコーディネートするボランティア情報センターのようなプラットフォームが必要。新しい一歩を踏み出す人に対してFACE to FACEで寄りそうことがの参加への一押しとなる。コーディネーターはノウハウをシェアするために個人よりもチームの方が望ましい。
    - ・いこいの家等の施設にチラシが山ほどあるが、逆に多すぎて利用者に届いていない。チラシは人から人へ手渡した方が効果が高いと感じる。

- ・切り口ごとの取組に終始するのではなく、取組全体をコントロールすることが必要。そのためにもしっかりとした全体の制度設計が必要。その中で個別のプロジェクトは予算と担当の元に進んでいく。情報発信は運用の視点が欠けている場合が多いので、運用の面も考えて検討する必要がある。
- ・健康寿命を延ばすためには、心の他にも食事や運動もある。トータルで伸ばしていくという視点が必要。今回のフォーラムのチラシでは「やっぱり、定年過ぎても夫は元気で留守がいい？」というキャッチフレーズを使用した。家で過ごしたい人もいる。多様な視点を持つことが必要。ボランティアに参加する上で体験が重要。各々のボランティア活動は見ただけではわからない面もある。
- ・社協、やまゆり、市民館の3機関の連携はさらに強くして、マッチングを上手に図ってほしい。相談員と利用者とのFACE to FACEの関係が大切。広報は町会の掲示板等様々な手段の活用が求められる。
- ・団体やボランティアを始めようと思った人が、あてにできるコーディネイト機能を持つ部署が必要である。また、ボランティア活動の推進については、区としてのイメージ、テーマをつくり、その上で進めていくことが肝要である
- ・情報の受け手と出し手の立場から生じるギャップについて、それを解消する情報発信の仕組みが必要である。定期的なボランティア講座や気軽に登録できるボランティア登録制度で、シニア世代を地域デビューにつないでいきたい。
- ・ボランティア活動の入り口を広くする。ボランティアの固定観念を払拭する発信が必要。相談コーナーを設置し、既存の団体から得た体験学習の案内を行ったらどうか。
- ・ボランティアポイントについて、再度検証してはどうかと思う。制度の中に、研修、登録、活動と、コーディネイト機能が含まれている。他都市でも導入されているので、検討してほしい。

今回各々の委員からあった提案を整理し、次回の部会は具体的な提言を固めていく旨、確認した。

#### (5) 全体会議について

事務局より資料を元に説明。今回の議論を踏まえて、修正する旨確認した。